

声をあげよう！ 仲間を広げよう！ 人間らしく働く権利の確立をめざして！

パート・非常勤部会ニュース_{no.13}

大阪市北区錦町2-2 国会会館1F 大阪労連パート・非常勤部会 2006・10・10

第11回臨時・非常勤・パート派遣労働者・フリーターのつどい

— 10月7日(土) 吹田メシアターに304名がつどう —

10月7日(土)の午後1時30分より、吹田メシアターで第11回臨時・非常勤・パート・派遣労働者・フリーターのつどいが開催されました。吹田市民やダイキン工業、新婦人、自治労連、生協労連、大教組、医労連、全国一般、福保労、大私教、JMIU、北河内地区協、北摂地区協、堺労連など304名がつどいました。

オープニングとあいさつ いるか学級16人の和太鼓と南中ソーランはたいへん好評



「政治の革新と結びついた闘いを」と北摂地区協議会議長の平田実行委員長が挨拶し、「吹田へようこそ」と吹田市職労の岩根前委員長、そして「職場で大きな上下関係があれば人間関係が壊れていく。自由な人間関係のもとでこそ良い仕事ができる」と植田大阪労連議長が挨拶を行いました。

山形の全農庄内本部すみれ会、佐藤恵美さんが講演を行いました。

すみれ会は庄内経済連で働く1年契約の女性臨時職員の労働組合です。庄内経済連は女性の正職員はほとんど採用せず、1年契約の臨時職員を何度も更新して16年～30数年と働かせてきました。佐藤さんたちは妊娠した時、職場の課長が舅や姑の所、実家、親戚にまで行って退職するように迫ったそうです。彼女たちは労働組合を作って産休、育児時間、育児休業を勝ち取りましたが、年度末ごとの契約更新時の雇い止めの不安があり、2000年2月「来年3月末で雇い止め」という通告を受けて裁判に立ち上がり、6年間闘って、様々な嫌がらせに耐えて、有期雇用をはねかえし、60歳定年制と退職金制度の確立、賃金額に4万円を加算する、名刺やパソコンを各自に貸与することなどで和解を勝ち取りました。「どうしても譲れないことがあった。いるのかいないのかわからない労働者であり、会議にも排除され続けた。職場で自分たちをどう位置づけるのかをはっ

きりさせたかった」と語られた言葉が印象的でした。

アンケートより

*冷静な話し方でしたが、発言の一つ一つには大変な思いがこめられているものばかりでした。圧力をかけられてもくじけず闘いを続けていく精神力に感動しました。

*声を上げることの大切さと大変さを強く感じました。

10人が職場リレートーク

松下プラズマディスプレイ偽装請負で闘う吉岡さん、全国一般、自治労連関連評議会、生協労連、大教組臨時職員、大私教、福保労、北河内地区協議会、医労連、新婦人からリレートークが行われました。

- ・ 04年パート・アルバイトの時間給20円アップ
- ・ アルバイト交通費 200円 300円に
- ・ 一時金 0.01ヶ月正規との格差を縮小
- ・ 配偶者の忌引き休暇 7日 10日に
- ・ 05年 育児休暇を1年 1年6ヶ月に
- ・ 通勤緩和休暇を新設 1時間



吹田関連労組



生協労連



医労連



大教組臨時職員

生協の配送パート。正規との違いは夜の配送ないこと、原則として異動ないこと、管理、供給、安全運転などの推進担当が無いぐらい拡大と共済目標はほぼ同率だが、時給も一時金も差別されている。

いろんな部署でパート・派遣業務委託が急激に増えている。年収300万円以下の苦しい生活のなかで、どこまで責任のある仕事ができるでしょうか。均等待遇が求められている。

雇用形態は「学期雇用」で4/8～7/20、9/1～12/22、1/9～3/15と1年の間で雇用がプツプツと切られ、年3回社会保険が切られる。今年春、12月だけ社会保険適用に。

アンケートより

*リレートークは違う職場の方々の実態が短い話の中ですがわかって、毎年やっているのですが、とても励まされた気分です。もっと多くの組合の方からの話を聞けたらと思います。

*聞けば聞くほどひどいと感じました。みんなで力を合わせておかしいことはおかしいと声を上げないと子どもの未来はないと思います。

*継続が力になります。12回に向け各々の職場で頑張りましょう。また実態を出し合いましょう。

*松下プラズマ、腹が立ちます。吉岡君ガンバレ！